

ご使用のしおり 取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書を十分お読みください。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守ってください。
このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠ 警告 感電、火災の恐れがあります。

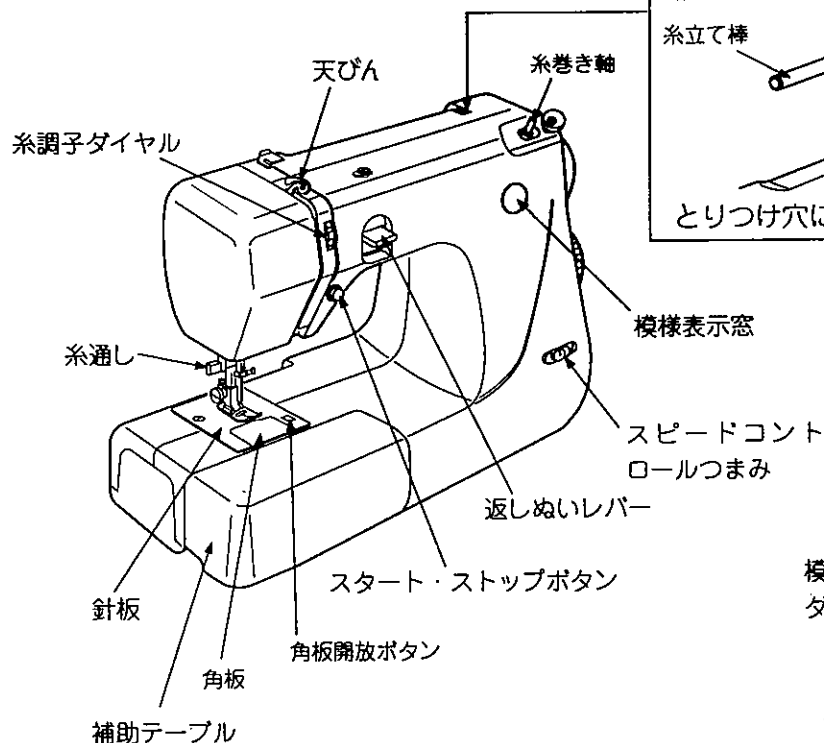
1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。
 - ・ミシンのそばを離れるとき
 - ・ミシンを使用したあと
 - ・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意 感電、火災、けがの原因となります。

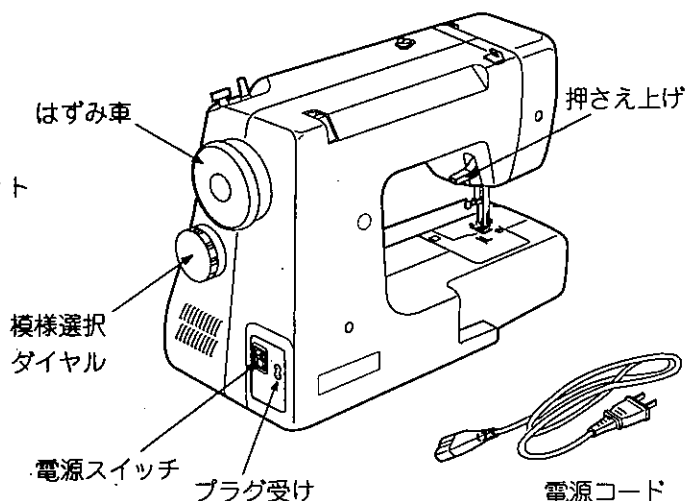
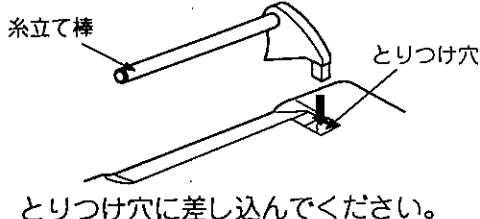
1. お客様自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
4. 曲がった針はご使用にならないでください。
5. ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

6. 針、及び押さえは確実に固定してください。
又、押さえはぬいに合ったものをご使用ください。
7. お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
 - ・針、針板、押さえ、アタッチメントを交換するとき
 - ・上糸、下糸をセットするとき
 - ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください）
 - ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止しお近くの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - ・正常に作動しないとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・水に濡れたとき
 - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
10. 電源プラグを取扱うときには、以下の点に注意してください。
 - ・コンセントから抜くときは、必ずプラグを手で持って抜いてください。
 - ・濡れた手で使用しないでください。

●各部のなまえ



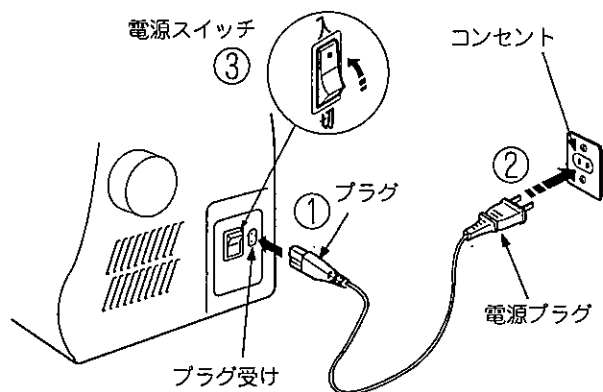
【糸立て棒のとりつけ】



●標準付属品..... 補助テーブルに収納されています。



●電源のつなぎ方



- ①電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ②電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③スタート・ストップボタンが「ストップ」の位置にあることを確認して、電源スイッチを入れます。

※電源は一般家庭用（100V 50/60Hz）です

※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

電源スイッチを「入」にするとき、及び電源プラグをつなぐときには、必ずスタート・ストップボタンを「ストップ」の位置にしてください。

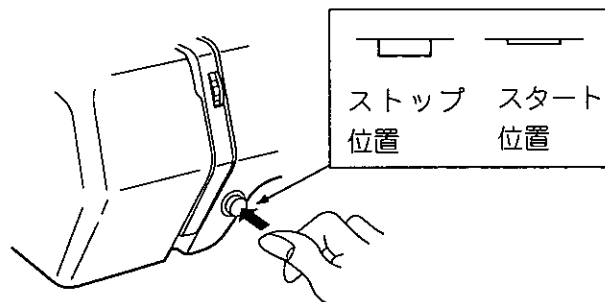
スタート・ストップボタンが「スタート」の位置で電源スイッチが「入」になっている場合には、電源プラグをつなぐと同時にミシンが動きだし危険です。

●スピードの調節



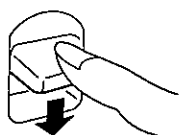
ぬう速さは、「はやい」「おそい」のお好みの速さにつまみをセットしてください。

●スタート・ストップボタン



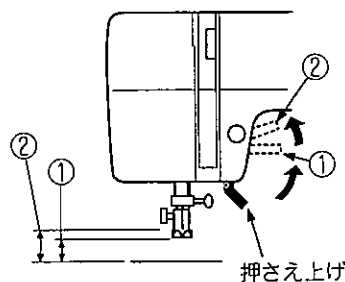
ボタンを押すと、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。

●返しぬいレバー



ミシンを運転中レバーを押している間は返しぬいをし、離すと前進ぬいになります。

●押さえ上げ

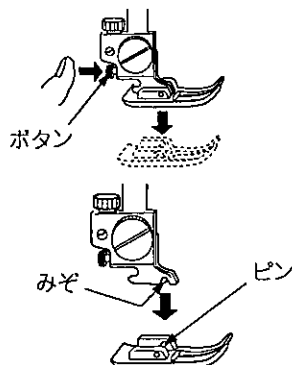


押さえ上げで押さえの上げ下げをします。

押さえ上げを普通にあげた位置よりさらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

- ①普通にあげた位置
- ②さらにあげた位置

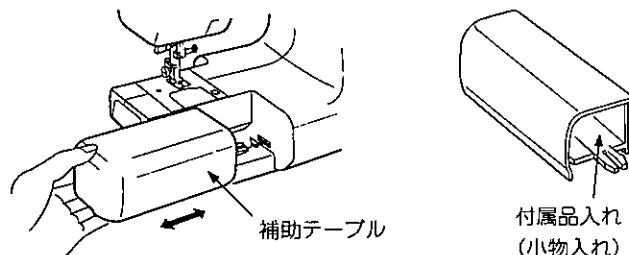
●押さえの交換



- ①押さえ上げをあげ、赤色ボタンを押してはずします。

- ②押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにおろします。

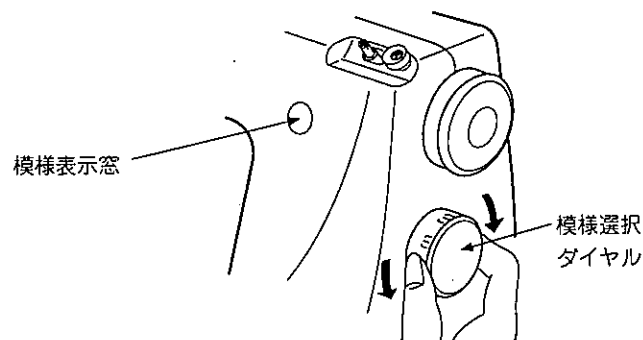
●フリーアーム



補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。

補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

●模様の選び方

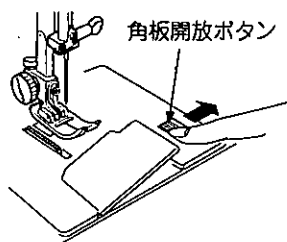


針をあげて模様選択ダイヤルを回し、模様を選びます。

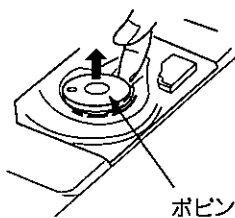
※針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルを回すと、針が曲がったり折れたりする原因になります。

●下糸の準備

★ボビンのとりだし

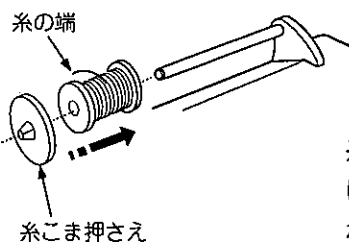


①角板開放ボタンを右に寄せて、角板をはずします。



②ボビンを取り出します。

★糸こまのセット

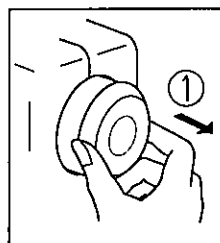
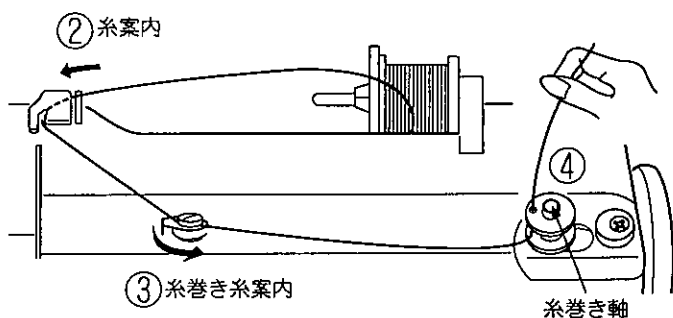


糸の端が向こう側に出るようにして糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

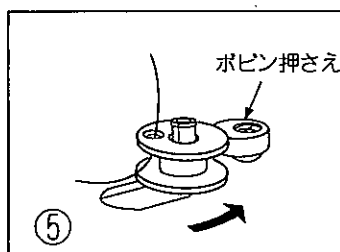
★ボビンに糸を巻く

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。

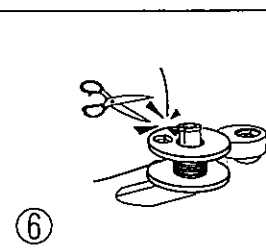
※ボビンは、ジャノメ専用ボビンをご使用ください。



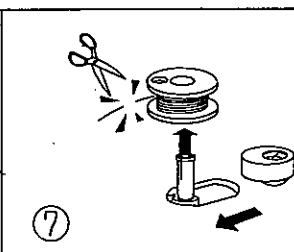
①はずみ車を引き出します。
②糸案内に掛けます。
③糸巻き糸案内に掛けます。
④ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。



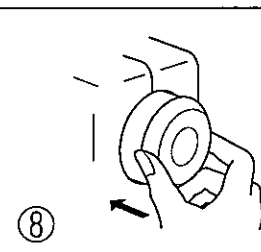
⑤ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。



⑥糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が二重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。

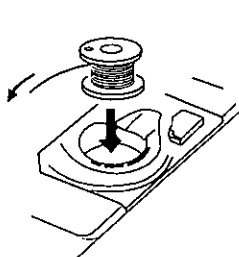


⑦再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸よりはずします。

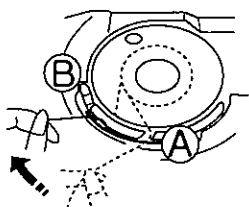


⑧はずみ車を元の位置（押し込む）に戻します。

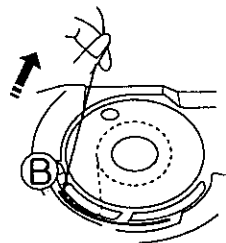
★ボビンのセット



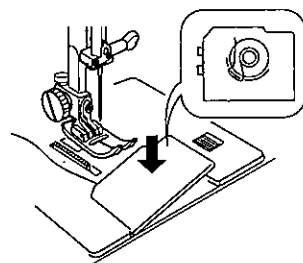
①糸の端を矢印方向に出し、ボビンをかまに入れます。



②糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) に掛けます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とパネの間を通して、左側のみぞ (B) のところに出します。



③糸を左側のみぞ (B) に掛けるように、向こう側に出します。

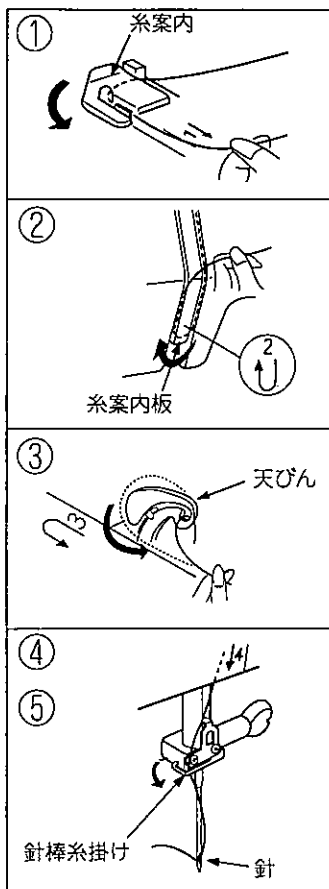
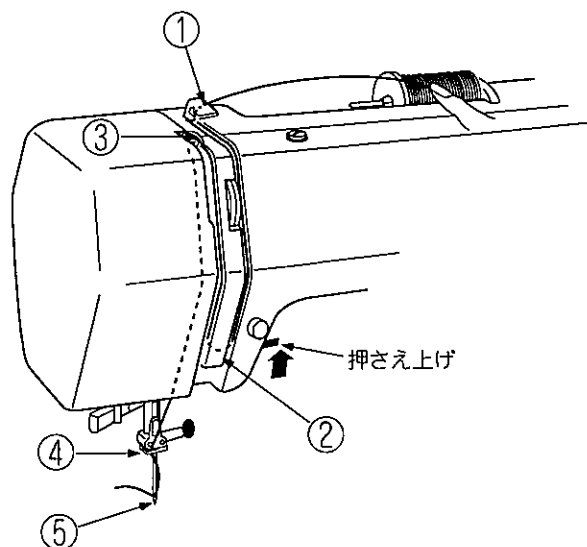


④下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせて、つけます。

●上糸の準備

★上糸のかけ方

※糸こまを押さえながら正しく糸を掛けてください。



①押さえ上げをあげ、糸を糸案内の向こう側から右側のみぞにそって下におろします。

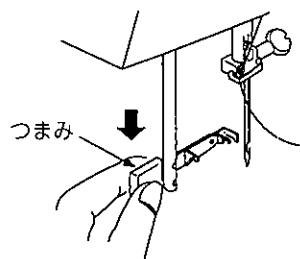
②糸案内板の下を回して右から左に掛け上に引きあげます。

③はずみ車を手前に回し、天びんを上部にします。天びんには、右から後ろを回して左へ出し、手前に引き出してまっすぐ下におろします。

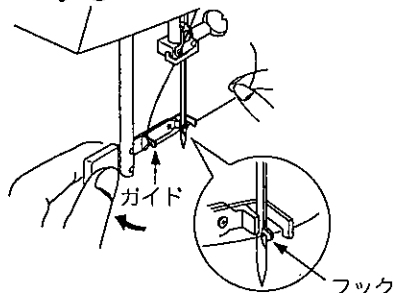
④針棒糸掛けに左から掛けます。

⑤糸通しを使って針に糸を通します。

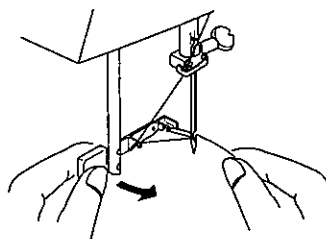
★糸通しの使い方



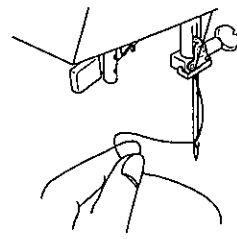
①針を一番上にあげてつまみを止まるまでいっぱい引き下げます。



②つまみを矢印方向へ回してフックを針穴に入れます。糸をガイドとフックに掛けます。

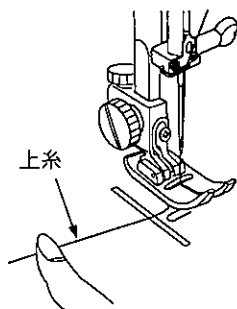


③つまみを矢印方向に回して糸が輪になって出てきたらつまみを押し上げ糸の輪を引き上げます。

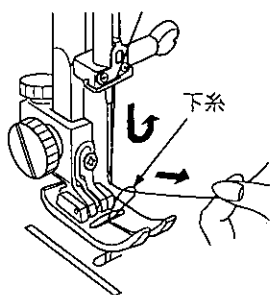


④針穴から端を引き出します。

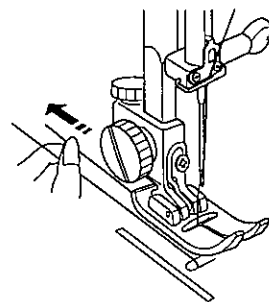
★下糸の引き上げ方



①押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。



②はずみ車を手で回し上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。



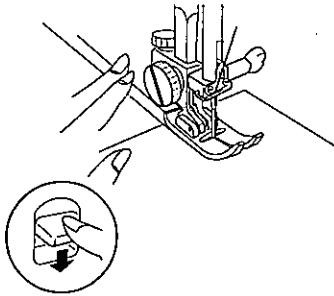
③上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約10cmくらい出します。

●直線ぬい



※模様は、ぬい目のあさが異なる3種類があります。

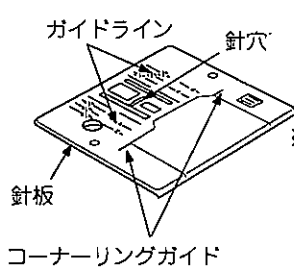
★ぬい始め



※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

糸と布を押さえ、はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針を刺します。
押さえをさげて、ガイドラインに合わせてゆっくりぬい始めます。

★針板ガイドラインの利用



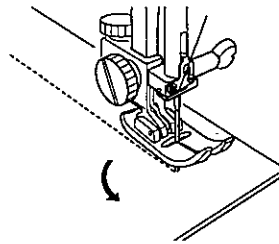
ガイドライン・布端を合わせます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は、針穴中央から布端までの距離です。

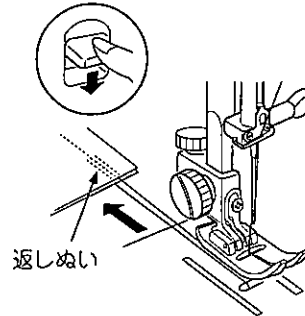
コーナーリングガイド・
布端がガイドのところきたらミシンを止め、針を布に刺し押さえをあげ、布を回転させます。
(針穴から1.6cmの位置です。)

★ぬい方向の変更



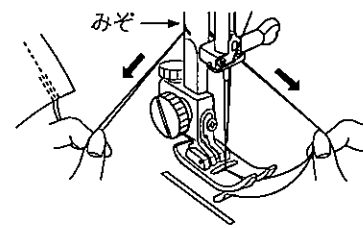
ミシンを止め、針を布に刺し、押さえをあげます。
針を刺したまま、布を回して方向をかえます。

★ぬいおわり



返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。
ミシンを止め、押さえをあげて、布を向こう側に引き出します。

★糸切り

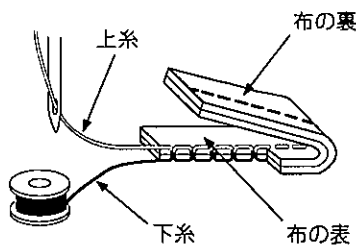


押さえ棒の糸切りみぞで糸を切ります。

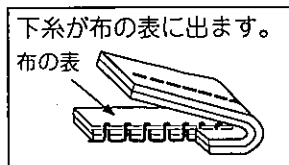
●糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルを回して調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

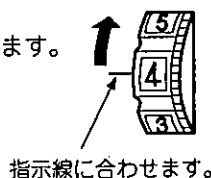
【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



【上糸が強い場合】

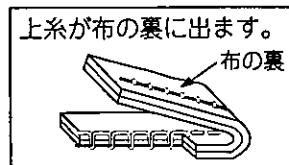


糸調子を弱めます。



指示線に合わせます。

【上糸が弱い場合】



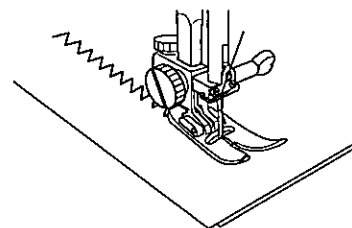
糸調子を強めます。



●ジグザグぬい

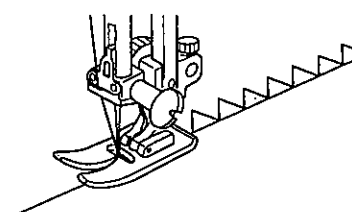


※模様は、ジグザグ幅が異なる(大)(中)(小)3種類があります。



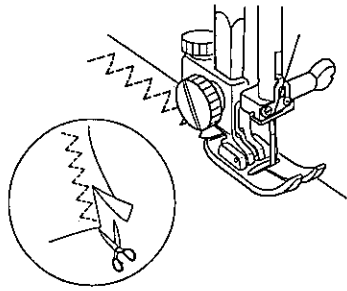
伸縮性のある布(ニット、ジャージー、トリコットなど)には、接着芯を貼るとききれいにぬえます。

●ジグザグぬいたち目かがり



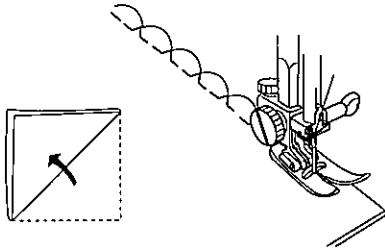
模様はジグザグ幅(大)を使用します。
布端のほつれ止めとして、広く利用します。

●トリコットぬいたち目かがり



ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め布端の返り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

●シェルタック



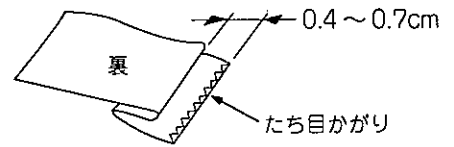
- ① 布をバイヤスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

※糸調子は、試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調節します。

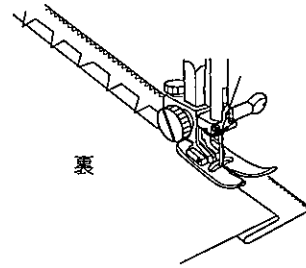
●くけぬい (まつりぬい)



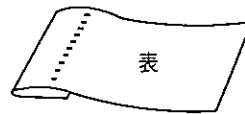
【布の折り方】



【ぬい】

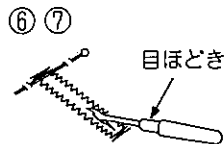
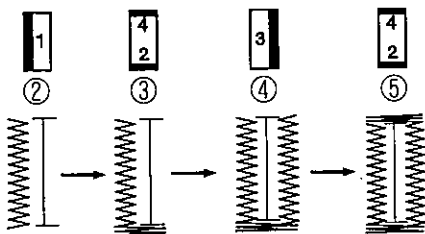
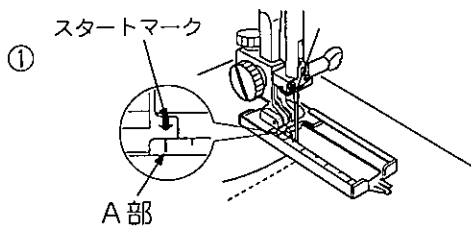
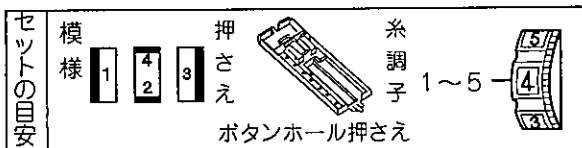


- ① 針がいちばん左にきたとき、わずかに折り山を刺すように布をおき押さえをさげてスタートします。スピードコントロールつまみは「おそい」にします。



- ② ぬいおわったら布を広げます。

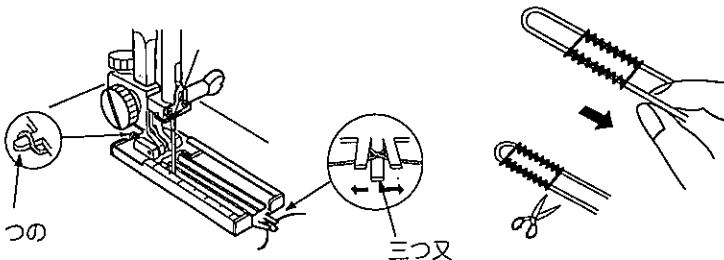
●ボタンホール



※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。

- ① 模様 1 を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークをA部に合わせます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえをおろしてミシンをスタートし必要な長さまでぬってミシンを止めます。
- ③ 針をあげて模様 2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいミシンを止めます。
- ④ 針をあげて模様 3 を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。
- ⑤ 針をあげて模様 4 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいます。
- ⑥ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。
上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
- ⑦ かんぬきの内側にまち針を刺し、目ほどきでかかった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール

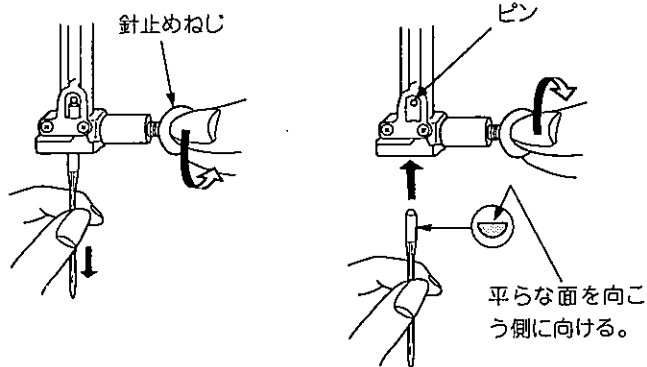


- ① 芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのに掛け、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又に挟みます。
- ② ボタンホール手順と同じようにぬいます。
- ③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

●針のとりあつかい

★針のとりかえ方

⚠ 針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



- ① 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針をはずします。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかくしめします。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

布	糸	針
うすい布 ローン ジョーゼット トリコット ウール 化繊布	絹糸 80番～100番 綿糸 80番～100番 化繊糸 80番～100番	9番～11番
普通の布 普通木綿 化繊布 薄手ジャージー 一般ウール 化繊服地	絹糸 50番 綿糸 60番～80番 化繊糸 50番～80番	11番～14番
	綿糸 50番	14番
厚い布 デニム ジャージー コート地 キルティング	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 化繊糸 40番～50番	14番～16番
	絹糸 30番 綿糸 30番	16番

※ 一般に、うすい布には細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

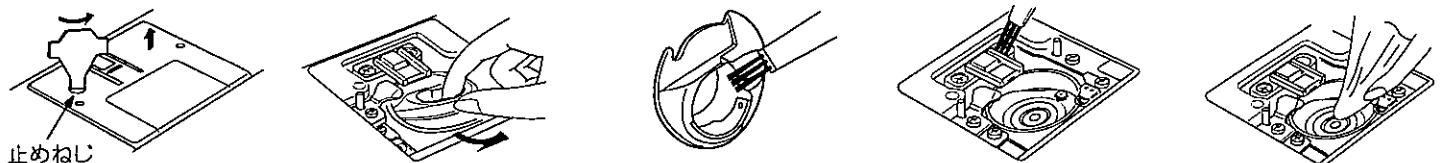
※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。
※ 伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャンメブルー針（別売）を使用すると効果があります。

（市販SP針も同様の効果があります。）

●ミシンのお手入れ

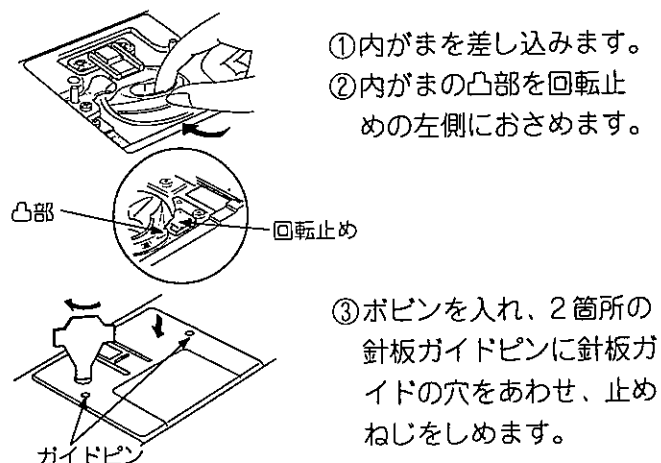
★かまと送り歯の掃除

⚠ お手入れのときは必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。



- ① 針と押さえをはずします。針板止めねじをはずして、針板をはずします。
- ② ボビンを取り出し、内がまの手前を上へ引きながらはずします。
- ③ 内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④ 送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

★内がまと針板の組みつけ

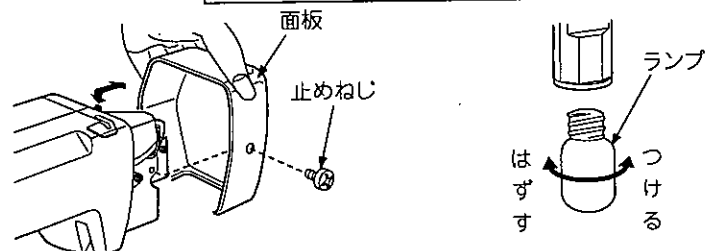


- ① 内がまを差し込みます。
- ② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

- ③ ボビンを入れ、2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。

★ランプの交換

⚠ 電源スイッチを切ってください。
ランプが冷えてから交換してください。



【とりはずし】

- ① 止めねじをはずして、面板をはずします。
- ② ランプを左に回して、はずします。

【とりつけ】

- ① ランプを右に回して、とりつけます。
- ② 止めねじで面板をとりつけます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	1 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。 2 上糸調子が強すぎる。 3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4 針のつけ方がまちがっている。 5 ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。	上糸を正しく掛け直す。 糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。
下糸が切れる。	1 下糸の通し方が、まちがっている。 2 内がまの中に、ごみがたまっている。 3 ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	正しく通し直す。 内がまの掃除をする。 ボビンを交換する。
針がおれる。	1 針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3 針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルを回した。 4 布にくらべて針が細すぎる。	針を交換する。 針止めねじをしっかりとしめる。 針をあげてからダイヤルを回す。 針を交換する。
ぬい目がとぶ。	1 針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 布に対して、針と糸があっていない。 3 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメブルー針（市販SP針）を使っていない。 4 上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売） 上糸を正しく掛け直す。
ぬい目がしわになる。	1 上糸調子があっていない。 2 上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3 布にくらべて針が太すぎる。	糸調子ダイヤルを調節する。 糸を正しく掛け直す。 針を交換する。
ミシンがまわらない。	1 コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2 かまに、糸やごみがたまっている。 3 糸巻き軸が、下糸を巻いたあとに戻っていない、または、はずみ車が元に戻っていない。（糸巻き状態になっている）	正しく差し込む。 かまの掃除をする。 糸巻き軸を戻す、または、はずみ車を元に戻す。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスを行います。

ただし、次のような場合は修理できないときがあります。

- 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
- 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- 4) お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。

- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

仕	様
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	50W / ランプ 12W
外形寸法	幅35.3cmX奥行15.9cmX高さ26.5cm
重 量	5.5kg
使用針	家庭用 HA X 1
縫 速 度	毎分650回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様の相談窓口

お問い合わせのある場合には、下記にお申し付けください。

蛇の目ミシン工業株式会社
〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1
TEL. 03-3277-2468